

東北地方 1 か月予報

(2月4日から3月3日までの天候見通し)

平成18年2月3日
仙台管区气象台発表

<特に注意を要する事項>

東北日本海側では記録的な積雪となっている所もありますので、気温の高い日の融雪や冬型の気圧配置の強まりによる大雪・なだれに注意してください。

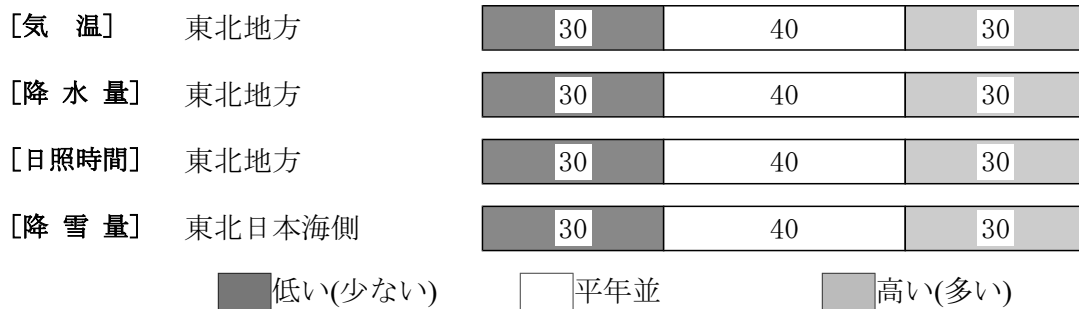
<予想される向こう1か月の天候>

冬型の気圧配置となる日が多く、期間のはじめは強い寒気が南下するでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

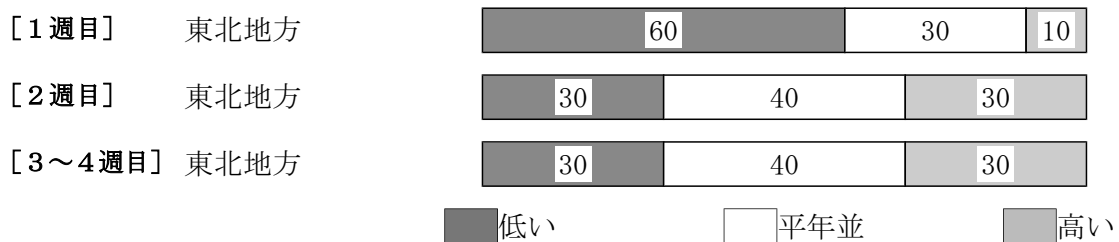
向こう1か月の平均気温は東北地方で平年並、降水量は東北地方で平年並、日照時間は東北地方で平年並、東北日本海側の降雪量は平年並でしょう。

週別の気温は、1週目は低い、2週目、3～4週目は平年並でしょう。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1 か月 : 2月 4日(土)～ 3月 3日(金)
1 週目 : 2月 4日(土)～ 2月10日(金)
2 週目 : 2月11日(土)～ 2月17日(金)
3～4 週目 : 2月18日(土)～ 3月 3日(金)

<次回発表予定等>

1 か月予報: 毎週金曜日 14時30分 次回は2月10日
3 か月予報: 2月23日(木) 14時
暖候期予報: 2月23日(木) 14時

＜参考資料（平年並の範囲等）＞

（１）30年平均値（向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間、降雪量と1週目、2週目、3～4週目の平均気温）

	気 温 (℃)	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	降 雪 量 (cm)	気 温(℃)		
					1 週 目	2 週 目	3 ～ 4 週 目
大船渡	1.1	55.8	141.9	28	0.4	0.8	1.5
新庄	-0.7	135.9	60.5	226	-1.4	-1.0	-0.3
若松	-0.1	65.1	99.7	148	-0.8	-0.4	0.4
深浦	0.0	75.0	52.8	108	-0.7	-0.3	0.5
青森	-0.9	107.8	77.4	189	-1.7	-1.3	-0.3
むつ	-1.3	82.4	96.0	161	-2.1	-1.7	-0.8
八戸	-0.7	50.4	133.6	99	-1.5	-1.0	-0.1
秋田	0.4	90.4	69.6	110	-0.3	0.1	0.9
盛岡	-1.3	54.7	130.8	92	-2.2	-1.6	-0.7
宮古	0.4	75.8	151.9	69	-0.2	0.2	0.9
酒田	1.7	109.0	64.7	111	1.1	1.4	2.1
山形	0.0	66.0	102.9	139	-0.7	-0.3	0.5
仙台	1.9	47.3	152.0	30	1.2	1.8	2.4
石巻	1.1	42.8	163.1	21	0.4	0.9	1.6
福島	2.0	49.1	146.5	62	1.3	1.8	2.5
白河	0.7	41.4	154.2	49	0.0	0.5	1.2
小名浜	3.9	60.0	172.8	0	3.2	3.7	4.3

なお、気温、降水量、日照時間、降雪量の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1971～2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間、降雪量の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差(℃)	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)	降雪量平年比(%)
東北地方	-0.4～+0.5	78～112	97～104	77～117
東北日本海側	-0.4～+0.5	93～108	92～106	89～117
東北太平洋側	-0.4～+0.6	62～121	98～104	69～120

（３）この予報期間の1週目、2週目、3～4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週 目	2 週 目	3 ～ 4 週 目
東北地方	-0.7～+0.8	-0.9～+1.0	-0.6～+0.7
東北日本海側	-0.7～+0.8	-0.9～+1.0	-0.7～+0.6
東北太平洋側	-0.6～+0.9	-0.9～+1.0	-0.6～+0.7

＜参考資料（利用上の注意）＞

（１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000年の30年間における各階級の出現率が等分（それぞれ33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10％以下や60％以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の2分の1より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成 18 年 2 月 3 日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう 1 か月 (2 月 4 日～3 月 3 日) :

冬型の気圧配置となる日が多く、期間のはじめは強い寒気が南下するでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

1 週目 (2 月 4 日～2 月 10 日) :

期間の初めと終わりは冬型の気圧配置で、東北日本海側や東北太平洋側山沿いは、雪や曇りでしょう。東北太平洋側沿岸部は、晴れの日が多い見込みです。期間の中頃は、気圧の谷の影響で湿った雪の降る日があるでしょう。なお期間の初めは、荒れた天気や大雪、強い冷え込みに注意が必要です。

平均気温は低いでしょう。

2 週目 (2 月 11 日～2 月 17 日) :

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

3～4 週目 (2 月 18 日～3 月 3 日) :

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

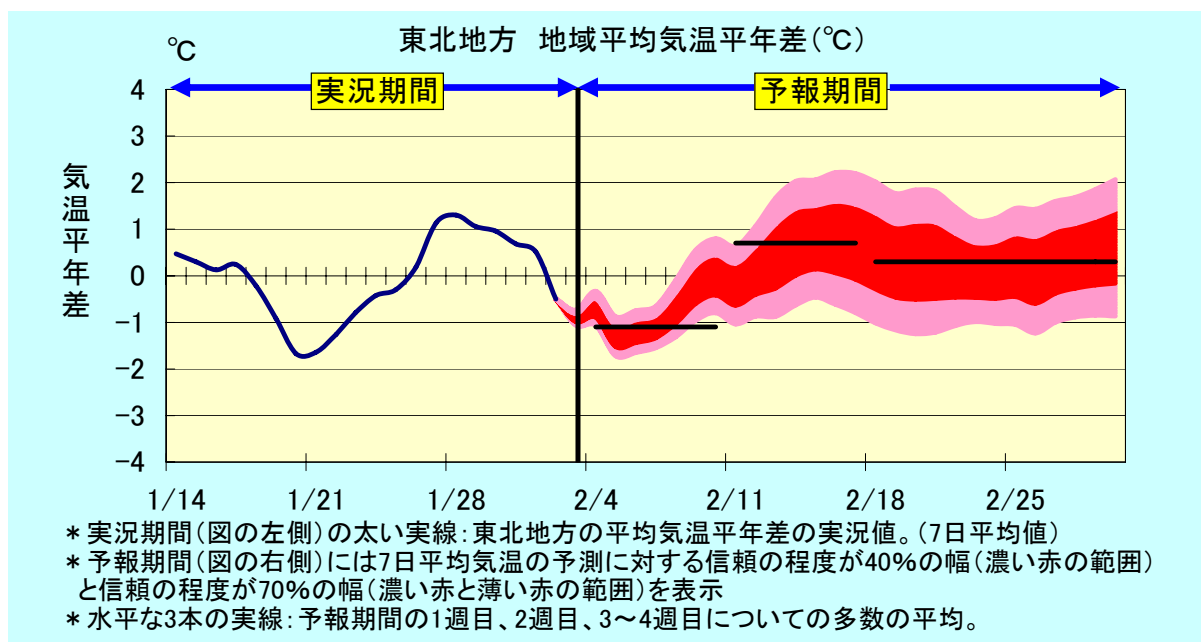
平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	6.9 日	1.4 日	1.7 日	3.8 日
東北太平洋側	17.7 日	4.6 日	4.5 日	8.6 日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1 週目は「低い」、2 週目、3～4 週目を「平年並」と予測している。予報は数値予報通りとする。

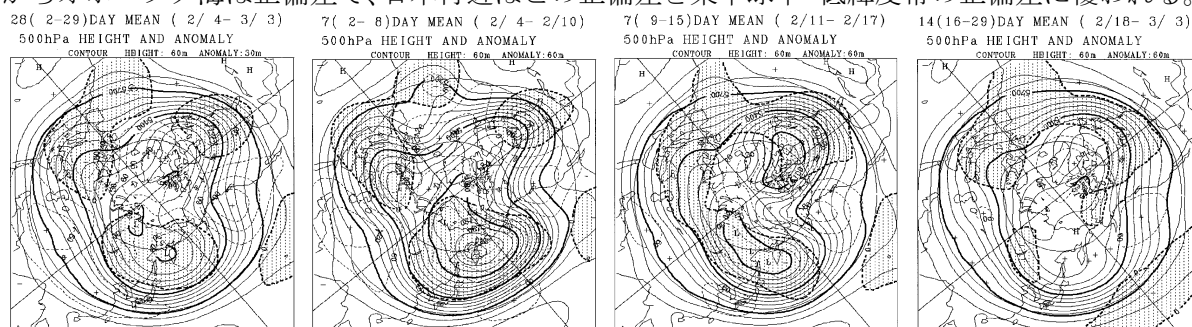
なお、数値予報の信頼度は小さい。



3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

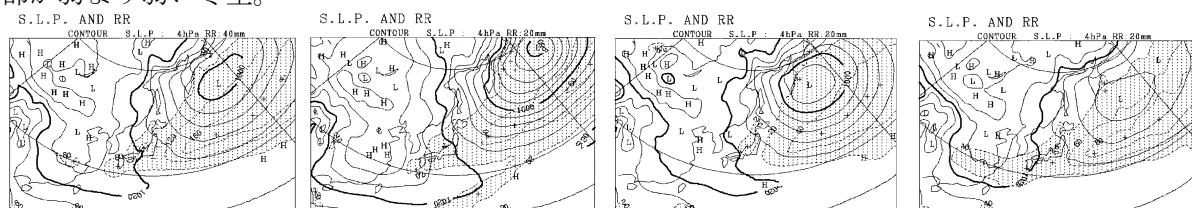
500hPa 高度と偏差：

月平均では、日本付近は東半球中・低緯度帯の正偏差に覆われるが、オホーツク海の低圧部も明瞭で、北日本の一部に負偏差がかかる。寒気放出現型であるが、寒気の南下は日本付近では高緯度中心。1 週目は、カムチャツカ半島付近に中心を持つ強い負偏差が広く極東の中緯度以北を覆い、東日本以北にかかる。ユーラシア大陸中緯度以南は正偏差で、西日本以西にかかる。2 週目は、日本付近は東半球中・低緯度帯の正偏差に覆われるがオホーツク海の低圧部も明瞭で、北日本の一部に負偏差がかかる。3～4 週目は、オホーツク海の低圧部は弱まり、アリューシャン列島からオホーツク海は正偏差で、日本付近はこの正偏差と東半球中・低緯度帯の正偏差に覆われる。



地上気圧と降水量：

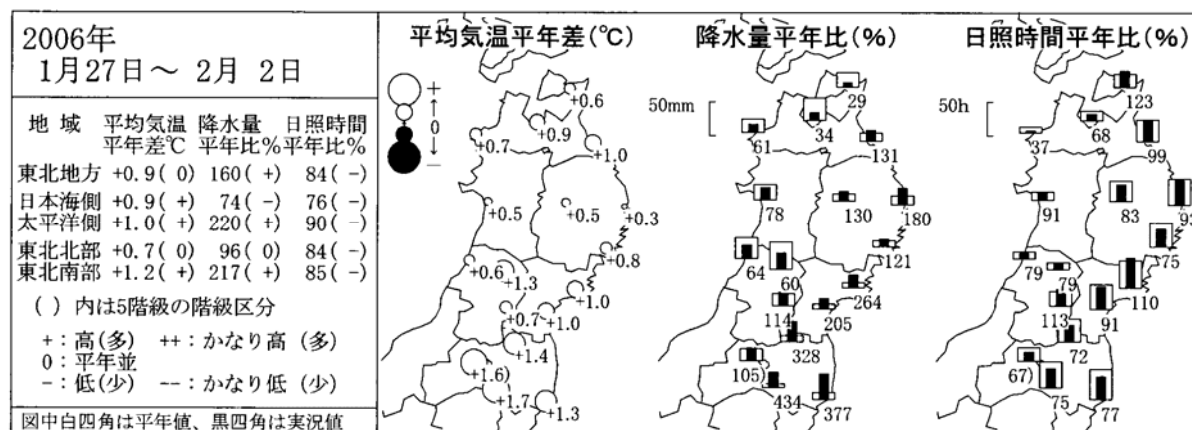
月平均では、大陸から日本付近への高気圧の張り出しが平年に比べ強く、北日本中心の冬型。1 週目は、冬型の気圧配置で、カムチャツカ半島の遙か東の低気圧が強い。降水域が日本付近にかかる。2 週目は、カムチャツカ半島付近の低圧部は平年より明瞭だが、大陸から日本付近への高気圧の張り出しが平年に比べ強く、北日本中心の冬型。3～4 週目は、カムチャツカ半島南の低圧部が弱まり弱い冬型。



4. 最近 1 週間（1 月 27 日～2 月 2 日）の天候の経過

期間の初めと終わりは冬型の気圧配置となり、東北日本海側では雪となったが、東北太平洋側では概ね晴れた。29日は移動性高気圧に覆われて東北日本海側でも晴れ間が出た。31～1日は低気圧や前線の影響で東北太平洋側でも雪や雨となった所があった。特に1日は四国付近にあった南岸低気圧が急速に東北地方に接近したため、東北太平洋側を中心に各地で大雪となり、交通機関などに大きな影響が出た。

平均気温は東北北部で平年並、東北南部で高い。降水量は東北日本海側で少なく、東北太平洋で多い。日照時間は東北地方で少ない。



最近 1 週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）